

松本市人権関連施策一覧

【人権・男女共生課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
松本市 差別撤廃 人権擁護 審議会	<p>1 目的 市長の諮問に応じ、人権行政について調査 審議する機関</p> <p>2 会議 審議会開催 9月21日(金) 「人権施策に関する最近の動向について」</p>	<p>1 目的 市長の諮問に応じ、人権行政について調査 審議する機関</p> <p>2 会議 審議会開催 11月29日(金) 開催予定 「人権施策取組み状況、人権相談事業」</p>
人権教育 啓発事業	<p>1 広報まつもとによる啓発 ・人権啓発特集ページ(11月号) ・人権啓発コラム「心の橋をあなたから」 各課から寄稿(6回)</p> <p>2 出前講座他 企業・地区、職員研修</p> <p>3 講演会の開催 人権を考える市民の集い 平成30年11月17日(土) キッセイ文化ホール 大ホール ・小・中学生人権啓発ポスター展表彰式 ・中学生人権作文コンテスト松本市表彰式 ・入選作文朗読 ・警察音楽隊コンサート ・人権啓発講演会 講演：「混迷の時代を生きる“命の重さ”」 講師 江川 紹子 氏 (ジャーナリスト)</p> <p>主催：松本市、松本市教育委員会、長野地 方法務局松本支局、松本人権擁護委 員協議会、NPO 法人長野犯罪被害者 支援センター 共催：松本市地区人権啓発推進連絡協議 会、 松本市企業人権啓発推進連絡協議会、 部落解放・人権政策確立要求松本市実 行委員会</p> <p>4 啓発資料の提供 (1) 人権啓発ポスター展 平成30年11月28日(水)～12月2日 (日) 松本市美術館 平成31年1月4日(金)～14日(月) 梓川アカデミア館 ・市内小・中学生から募集した人権啓発 ポスター作品展 応募数159点 ・最優秀作品2点のポスターを印刷し、 (2点×600組) 公共施設で掲示</p>	<p>1 広報まつもとによる啓発 ・人権啓発特集ページ(11月号) ・人権啓発コラム「心の橋をあなたから」 各課から寄稿(6回)</p> <p>2 出前講座他 企業・地区、職員研修</p> <p>3 講演会の開催 人権を考える市民の集い 令和元年11月24日(日) Mウィング6階ホール ・小・中学生人権啓発ポスター展表彰式 ・中学生人権作文コンテスト松本市表彰式 ・入選作文朗読 ・人権の花運動活動報告 ・人権啓発講演会 講演：障害者スポーツから学ぶ共生社会の 実現 講師 山梨県ボッチャ協会会長 小林俊介氏</p> <p>主催：松本市、松本市教育委員会、長野地方 法務局松本支局、松本人権擁護委員協 議会 共催：松本市地区人権啓発推進連絡協議会、 松本市企業人権啓発推進連絡協議会、 部落解放・人権政策確立要求松本市実 行委員会</p> <p>4 啓発資料の提供 (1) 人権啓発ポスター展 令和元年11月27日(水)～12月1日(日) 松本市美術館 令和2年1月4日(金)～13日(月) 梓川アカデミア館 ・市内小・中学生から募集した人権啓発 ポスター作品展 ・最優秀作品2点のポスターを印刷し、 公共施設で掲示 ・松本市企業人権啓発推進連絡協議会加入企 業への配布</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松本市企業人権啓発推進連絡協議会加入企業への配布</li> <li>(2) 人権啓発リーフレットの配布</li> <li>(3) 人権映画の日（12回）Mウイング3階</li> <li>(4) 人権教育・啓発DVDの購入、利用促進地域、企業、学校での人権教育・啓発研修会等への貸出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・VHS・DVD保有数 195本</li> <li>・貸出し本数62本（H31.3.31現在）</li> </ul> </li> </ul> <p>5 地区人権啓発推進事業</p> <p>(1) 目的 市内35地区人権啓発推進協議会による 地区内での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動</p> <p>ア 総会、研修会 平成30年7月2日（月） 再出発を見守る社会へ ～保護司の活動を通して～ 講師 松本地区保護司会 会長 山元 秀泰 氏 （参加者 63人）</p> <p>イ 人権同和古文書研究推進（学習会7回）</p> <p>ウ 各地区における人権教育・啓発事業の実施</p> <p>エ 視察研修 平成30年10月30日（火） 長野県事務所（須坂市）・長野県人権啓発センター（千曲市） 20名参加</p> <p>6 企業人権啓発推進事業 松本市企業人権啓発推進連絡協議会 （平成30年7月1日現在 会員企業290社）</p> <p>(1) 目的 企業人権啓発推進連絡協議会による職場 での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動 役員会・総会・研修会 平成30年7月30日（月） 「LGBTも働きやすい職場、生きやすい社会をつくろう」 講師 特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ理事長 村木 真紀 氏 （参加者 260人）</p> <p>(3) 人権啓発講座 8月～2月 年間6回開催 第1回 平成30年8月21日（火） 「メンタルヘルス」ポジティブに生きるた</p>	<p>(2) 人権啓発リーフレットの配布</p> <p>(3) 人権映画の日（12回）Mウイング3階</p> <p>(4) 人権教育・啓発DVDの購入、利用促進地域、企業、学校での人権教育・啓発研修会等への貸出</p> <p>5 地区人権啓発推進事業</p> <p>(1) 目的 市内35地区人権啓発推進協議会による 地区内での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動</p> <p>ア 総会、研修会 令和元年7月8日（月） 「生きて逝きしていくということ」 ～性同一性障害の自らの経験から～ 講師 伊藤ひより 氏（シンガーソングライター） （参加者 54人）</p> <p>イ 人権同和古文書研究推進</p> <p>ウ 各地区における人権教育・啓発事業の実施</p> <p>6 企業人権啓発推進事業 松本市企業人権啓発推進連絡協議会 （令和元年7月1日現在 会員企業282社）</p> <p>(1) 目的 企業人権啓発推進連絡協議会による職場 での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動 役員会・総会・研修会 令和元年7月17日（水） 「SDGsと企業経営の関係：人権の視点から」 講師 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授 大室悦賀 氏 （参加者 60人）</p> <p>(3) 人権啓発講座 8月～11月 年間4回開催中 第1回 令和元年8月27日（火） 「メンタルヘルス」あなたもゲートキーパー “気づいてつなぐ心の支援” 講師 株式会社コミュニケーションズ・アイ 代表取締役社長 伊藤かおる 氏</p>
--	---	--

	<p>めの心理学～自分だましの方法～  講師 信州大学人文学部教授・信州大学地域防災減災センター長 菊池 聡 氏</p> <p>第2回 平成30年9月11日(火)  「セクハラ・パワハラ」  ～事例で見る職場のハラスメントとその対策～  講師：長野県弁護士会 高松 寿美枝 氏</p> <p>第3回 平成30年10月2日(火)  「コミュニケーション術」  ～メンタライジング相手の心はどこまで読める！？～  講師 信州大学 学術研究員 総合人間科学系 助教授 藤川 真美乃 氏</p> <p>第4回 平成30年11月21日(水)  「未来に選ばれる企業をめざして」  ～CSR・SDGsから始まるサステナブルな会社づくり～  講師 CSR エキスパート 渡辺 勉 氏  (株)エイブルデザイン取締役松本支社長</p> <p>第5回 平成31年1月21日(月)  「ワークライフバランス」  ～ダイバーシティ経営の実例～  講師 セイコーエプソン(株)人事部</p> <p>第6回 平成31年2月8日(金)  「インターネットと人権」  講師 長野県警察本部サイバー犯罪対策室</p>	<p>第2回 令和元年9月24日(火)  「パワハラ防止に役立つ「怒りのコントロール術」  講師：一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 土田 英文 氏</p> <p>第3回 令和元年10月17日(木)  「やさしい日本語」とコミュニケーション術  講師 特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク 日本語教育アドバイザー 佐藤 佳子 氏</p> <p>第4回 令和元年11月26日(水)  ワーク・ライフ・マネジメントを推進し、すべての職員が輝ける職場環境の実現へ  ～長野銀行 女性活躍推進の取組み～  講師 長野銀行人事部</p>
<p>多文化共生推進事業</p>	<p>1 目的  第9次基本計画に盛り込まれた「外国人の人権を尊重し、国際交流を通して生活スタイルや考え方を互いに認め合い、多文化共生に対する意識醸成」に向けて、多文化共生の地域づくりを進めるため、多文化共生プランに盛り込まれた各施策を推進するもの。</p> <p>2 活動実績  (1) 多文化共生推進プランの進行管理  多文化共生推進協議会の開催(2回)  (2) コミュニケーション支援  ア ポルトガル語相談員の設置  日系ブラジル人等に向けた相談窓口</p> <p>の  実施  相談件数949件/年</p>	<p>1 目的  第9次基本計画に盛り込まれた「外国人の人権を尊重し、国際交流を通して生活スタイルや考え方を互いに認め合い、多文化共生に対する意識醸成」に向けて、多文化共生の地域づくりを進めるため、多文化共生プランに盛り込まれた各施策を推進するもの。</p> <p>2 活動計画  (1) 多文化共生推進プランの進行管理  多文化共生推進協議会の開催(3回)  (2) コミュニケーション支援  ア ポルトガル語相談員の設置  日系ブラジル人等に向けた相談窓口</p> <p>の  実施  イ 多言語相談の実施</p>

<p>イ 多言語相談の実施 多文化共生プラザにおいて、英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語、タイ語での相談受付 相談件数368件/年(4月～3月)</p> <p>ウ 多言語情報の提供 生活上必要となる情報をまとめた多言語ガイドブック(改訂版)をやさしい日本語版を含めた7か国語で作成し提供。</p> <p>エ 日本語学習支援の実施 市内各公民館で開催されている日本語教室の開催を支援(中央公民館他)</p> <p>(3) 生活支援</p> <p>ア 防災 ・市総合防災訓練 外国人住民3人参加(今井地区) ・外国人住民のための防災ハンドブックをやさしい日本語版も含め7言語で作成し、市ホームページへ掲載</p> <p>イ 教育 ・松本市子ども日本語教育センターの設置(学校指導課) NPO法人中信多文化共生ネットワークが受託。松本市に在住する外国人子弟の不就学をなくすとともに、市内小中学校に在籍し、日本語習得が十分でない外国人児童・生徒が学校生活に適應できるように日本語学習支援等を行う。 ・就学前ガイダンス、高校進学前ガイダンスの実施(いずれも学校指導課主催)</p> <p>(4) 多文化共生の地域づくり</p> <p>ア 地域社会に対する意識啓発 ・在住外国人による文化情報の発信及び交流イベント開催 延べ12回開催、 延べ307人参加 ・多文化共生フォーラム 3月17日(日)</p>		<p>ポルトガル語、中国語、タガログ語、タイ語での相談受付</p> <p>ウ 多言語情報の提供 本市で生活する上で必要となる情報をまとめた多言語ガイドブックをポルトガル語、中国語、やさしい日本語など8か国語で作成し窓口等で提供。また多言語情報をホームページに掲載。</p> <p>エ 日本語学習支援の実施 ・市内各公民館で開催されている日本語教室の開催を支援(中央公民館他) ・日本語支援システム構築の検討</p> <p>(3) 生活支援</p> <p>ア 防災 ・市総合防災訓練9月1日(日) 外国人住民3名参加(岡田地区) ・災害時等要援護者登録制度リーフレットの多言語版(7言語)作成及び制度の推進 ・災害情報発信のあり方について関係課と調整中</p> <p>イ 教育 ・松本市子ども日本語教育センターの設置(学校指導課) NPO法人中信多文化共生ネットワークが受託。松本市に在住する外国人子弟の不就学をなくすとともに、市内小中学校に在籍し、日本語習得が十分でない外国人児童・生徒が学校生活に適應できるように日本語学習支援等を行う。 ・就学前ガイダンス、高校進学前ガイダンスの実施(いずれも学校指導課主催)</p> <p>(4) 多文化共生の地域づくり</p> <p>ア 地域社会に対する意識啓発 ・出前講座及び公民館との共催事業の実施 ・多文化共生フォーラムの開催(2/9信州大学との共催で開催予定)</p> <p>イ 多文化共生プラザの設置運営 NPO法人中信多文化共生ネットワ</p>
--	--	--

	<p>「入管法改正と松本市の未来」 講師 出井 博文 氏 (弁護士) 63名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座 (2回) 9/18 松本筑摩高等学校 (13人) 2/7 松本国際高等学校 (25人)</li> </ul> <p>イ 多文化共生プラザの設置運営 NPO法人中信多文化共生ネットワ</p> <p>ークへ業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総利用者数 6,435人</li> <li>・相談件数 1,512件</li> <li>・多言語相談利用件数 368件</li> </ul>	<p>ークへ業務委託</p> <p>多言語など相談事業、情報発信、交流、異文化理解事業及び支援事業の実施</p> <p>ウ 外国人住民の自立と社会参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーパーソンネットワークの構築に向けた取組み 10月30日意見交換会開催</li> </ul> <p>参加者26人 (内 外国由来の方12人)</p> <p>エ 多文化共生実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本市における多文化共生に関して、日本人住民、外国人住民の意識や実態を把握するため、日本人住民1000人、外国人住民1400人、事業所300社に対するアンケート調査を実施 (現在調査中)</li> </ul>
女性センター 相談事業	<p>1 面接相談 心の悩みや夫婦の問題等生活全般について 相談員による相談を実施。 時間 午後1時～午後4時 ※第4金のみ午後4時～午後7時 (月・火・木・金) 相談件数 246件 (前年225件)</p> <p>2 電話相談 (1) 電話相談 心の悩みや夫婦の問題等生活全般について相談員による相談を実施。 時間 午前9時～正午 (毎週火・金、第1・3水) 相談件数 129件 (前年97件)</p> <p>(2) 男性電話相談 仕事や人間関係等の悩みで生きにくさを感じている男性に対して、男性相談員による 電話相談を実施。 時間 午後5時～8時 (毎週第2、3、4火) 相談件数 24件 (前年23件)</p> <p>3 女性弁護士相談 法律について女性のための女性弁護士による 相談を実施。 毎月第2火・第4月曜日 午後1時30分～午後3時30分 相談件数 89件 (前年87件)</p>	<p>1 面接相談 平成30年度と同じ日程で実施予定</p> <p>2 電話相談 平成30年度と同じ日程で実施予定</p> <p>3 女性弁護士相談 平成30年度と同じ日程で実施予定</p>

【行政管理課・平和推進課】 (行政管理課)

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
-----	----------	---------

松本市平和祈念式典	<p>【松本市平和祈念式典】</p> <p>1 趣旨 松本市平和都市宣言が目指す「核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土」づくりを進めるため、平和祈念碑「平和の誓い」のもとに市民が集まり、平和の尊さを次世代に継承し、世界恒久平和の実現を祈念するため開催したもの</p> <p>2 期日 平成30年8月15日(水)</p> <p>3 内容 黙とう、折鶴献呈、広島平和記念式典参加中学生感想文発表、平和へのメッセージ、平和都市宣言朗読、平和合唱、原爆ポスター展の併設</p> <p>4 参加者 約800名</p> <p>【松本市平和の集い】</p> <p>1 趣旨 平成23年の国連軍縮会議の開催を機に、多くの市民に広がった平和の連鎖反応の継続を目的として開催したもの</p> <p>2 期日 平成30年8月15日(水)</p> <p>3 内容 小学生による平和の詩の朗読、被爆体験伝承者講話</p> <p>4 参加者 約230名</p>	<p>【松本市平和祈念式典】</p> <p>1 趣旨 松本市平和都市宣言が目指す「核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土」づくりを進めるため、平和祈念碑「平和の誓い」のもとに市民が集まり、平和の尊さを次世代に継承し、世界恒久平和の実現を祈念するため開催したもの</p> <p>2 期日 令和元年8月15日(木)</p> <p>3 内容 黙とう、折鶴献呈、広島平和記念式典参加中学生感想文発表、平和へのメッセージ、平和都市宣言朗読、平和合唱、原爆ポスター展の併設</p> <p>4 参加者 約800名</p> <p>【松本市平和の集い】</p> <p>1 趣旨 平成23年の国連軍縮会議の開催を機に、多くの市民に広がった平和の連鎖反応の継続を目的として開催したもの</p> <p>2 期日 令和元年8月15日(木)</p> <p>3 内容 小学生による平和の詩の朗読、被爆体験伝承者講話</p> <p>4 参加者 約200名</p>
広島平和記念式典参加事業	<p>1 趣旨 被爆地広島を訪れ、平和記念式典への参加や被爆体験者の講話等を通して、平和意識の向上を図ったもの</p> <p>2 期日 平成30年8月5日(日)～6日(月)</p> <p>3 内容 広島平和記念式典への参加、被爆体験者の講話、平和祈念資料館等の見学、レポート集の作成</p> <p>4 参加者 市内中学校の2年生代表44名、事務局5名</p>	<p>1 趣旨 被爆地広島を訪れ、平和記念式典への参加や被爆体験者の講話等を通して、平和意識の向上を図ったもの</p> <p>2 期日 令和元年8月5日(月)～7日(水)</p> <p>3 内容 広島平和記念式典への参加、被爆体験者の講話、平和祈念資料館等の見学、レポート集の作成</p> <p>4 参加者 市内中学校の2年生代表42名、事務局5名</p>
松本市小中学生平和ポスター展	<p>1 趣旨 松本市平和都市宣言が目指す「核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土づくり」を進めるため、平和ポスター展を通じて、平和の尊さ、戦争の悲惨さを多くの皆さんに知っていただき、平和意識の高揚を図ったもの</p> <p>2 期日 平成30年10月17日(水)～21日(日)</p> <p>3 出展数 395点(小学生298点・中学生97点)</p> <p>4 会場 松本市美術館多目的ホール</p> <p>5 表彰式 佳作入賞者までの12人を表彰</p> <p>6 観覧者数 681名</p>	<p>1 趣旨 松本市平和都市宣言が目指す「核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土づくり」を進めるため、平和ポスター展を通じて、平和の尊さ、戦争の悲惨さを多くの皆さんに知っていただき、平和意識の高揚を図ったもの</p> <p>2 期日 令和元年10月31日(木)～11月4日(日)</p> <p>3 出展数 417点(小学生348点・中学生69点)</p> <p>4 会場 松本市美術館多目的ホール</p> <p>5 表彰式 佳作入賞者までの12人を表彰</p> <p>6 観覧者数 833名</p>
松本ユース平和ネットワーク	<p>1 趣旨 平和の連鎖を若者世代で途切れさせることなく、より一層広げていくため、若者が平和について考え、学習し、発信する機会を設けることで、松本から世界へ平和を発信できる人材の育成を図ったもの</p>	<p>1 趣旨 平和の連鎖を若者世代で途切れさせることなく、より一層広げていくため、若者が平和について考え、学習し、発信する機会を設けることで、松本から世界へ平和を発信できる人材の育成を図ったもの</p>

	<p>2 期日 通年</p> <p>3 内容 平和学習会、長崎市平和訪問、平和都市宣言の日イベントへの参加、小中学校出前授業、留学生意見交換会、フォトジャーナリスト安田菜津紀さんによる講演会の開催等</p> <p>4 参加者 21名（イベントや出前事業には、市民、児童生徒が多数参加）</p>	<p>2 期日 通年</p> <p>3 内容 平和学習会、長崎市平和訪問、小中学校出前授業、留学生意見交換会の開催等</p>
親子平和教室	<p>1 趣旨 平和の大切さや命の尊さについて親子で考え、若い世代に平和の連鎖を広げる取り組みとして開催したもの</p> <p>2 期日 平成30年7月29日(日)、8月12日(日)</p> <p>3 内容 満蒙開拓平和記念館見学、語り部講話、文書館こども講座「松本からの『満州』移民」</p> <p>4 参加者 親子4組</p>	<p>1 趣旨 平和の大切さや命の尊さについて親子で考え、若い世代に平和の連鎖を広げる取り組みとして開催したもの</p> <p>2 期日 令和元年9月21日(土)</p> <p>3 内容 太平洋戦争で旧日本軍の兵士として出征し、生還した父親の体験を中心とした講話</p> <p>4 その他 第8回学都松本フォーラム内で開催</p>
平和都市宣言の日に合わせた平和イベント	<p>1 趣旨 松本市平和都市宣言30周年を契機に、さらに平和の連鎖を広げる取り組みとして開催した。</p> <p>2 期日 平成30年9月24日(月)</p> <p>3 内容 平和の灯モニュメントリーフレット発表、松本市平和都市宣言朗読・松本ユース平和ネットワーク活動報告、紺野美沙子さん講演会</p> <p>4 参加者 約300名</p>	<p>平和都市宣言の日に合わせた平和イベントは、周年事業として開催することとしたため、今年度は実施しません。</p>

【職員課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
職員研修	<p>1 内容 人権・男女共同参画</p> <p>2 期日 平成30年7月18日</p> <p>3 対象 新規採用職員83名</p> <p>4 講師 人権・男女共生課職員</p>	<p>1 内容 人権・男女共同参画</p> <p>2 期日 令和元年9月25日</p> <p>3 対象 新規採用職員</p> <p>4 講師 人権・男女共生課職員</p>
職員研修	<p>1 研修名 障害者差別解消法・あいさポーター研修</p> <p>2 期日 平成30年7月23日</p> <p>3 対象 全職員42名（部課長人権研修対象）</p> <p>4 講師 障害福祉課職員</p>	<p>1 研修名 障害者差別解消法・あいさポーター研修</p> <p>2 期日 令和元年7月22日</p> <p>3 対象 全職員（部課長人権研修対象）</p> <p>4 講師 障害福祉課職員</p>
職員研修	<p>1 研修名 人権研修</p> <p>2 内容、期日等</p> <p>(1) 性に関する多様な側面と性的マイノリティ</p> <p>平成30年9月13日</p> <p>山崎 明美 氏</p> <p>全職員25名（部課長人権研修対象）</p> <p>(2) 多文化共生と異文化コミュニケーション</p> <p>平成30年10月12日</p> <p>佐藤 佳子 氏</p>	<p>1 研修名 人権研修</p> <p>2 内容、期日</p> <p>(1) 海外の男女共同参画の状況を知り、男女共同参画意識の醸成を図るもの。</p> <p>令和元年9月12日</p> <p>(2) 外国人住民等へ伝えるためのコミュニケーションの秘訣を習得するもの。</p> <p>未定</p> <p>3 対象 全職員（部課長人権研修対象）</p>

	全職員39名(部課長人権研修対象)	
職員研修	1 研修名 認知症に関する研修 2 期日 平成30年10月2日 3 対象 全職員60名(部課長人権研修対象) 4 講師 高齢福祉課職員	1 研修名 認知症に関する研修 2 期日 令和元年10月2日 3 対象 全職員(部課長人権研修対象) 4 講師 高齢福祉課職員
職員研修	1 研修名 人権啓発研修 2 内容、期日等 (1) メンタルヘルス ～ポジティブに生きるための心理学～ 平成30年8月21日 菊池 聡 氏 (2) セクハラ・パワハラ ～実例で見る職場のハラスメントと その対策～ 平成30年9月11日 高松 寿美枝 氏 (3) コミュニケーション術 ～メンタライジング 相手の心はどこまで読める!?～ 平成30年10月2日 藤川 真美乃 氏 (4) 未来に選ばれる企業をめざして ～CSR・SDGsから始まる サステナブルな会社づくり～ 平成30年11月21日 渡辺 勉 氏 (5) ワークライフバランス ～ダイバーシティ経営の実例～ 平成31年1月21日 セイコーエプソン(株)人事部 (6) インターネットと人権 平成31年2月8日 長野県警察本部サイバー犯罪対策室	1 研修名 人権啓発研修 2 内容、期日 未定 (1) 令和元年8月27日(火) 「メンタルヘルス」あなたもゲートキーパー “気づいてつなぐ心の支援” 講師 株式会社コミュニケーションズ・アイ 代表取締役社長 伊藤かおる 氏 (2) 令和元年9月24日(火) パワハラ防止に役立つ「怒りのコントロール術」 講師：一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 土田 英文 氏 (3) 令和元年10月17日(木) 「やさしい日本語」とコミュニケーション術 講師 特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク 日本語教育アドバイザー 佐藤 佳子 氏 (4) 令和元年11月26日(水) ワーク・ライフ・マネジメントを推進し、すべての職員が輝ける職場環境の実現へ ～長野銀行 女性活躍推進の取組み～ 講師 長野銀行人事部 3 対象 全職員

### 【政策課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
ユニバーサルデザイン意識啓発事業	1 趣旨 平成20年5月に「松本市ユニバーサルデザイン推進基本指針」を策定し、ユニバーサルデザインの考え方をまちづくりの基本的な姿勢として、さらに具体化に向け取り組みを推進する。 2 事業内容 (1) 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の開催 (2) 広報まつもと特集号 11月号 (3) 小学校4年生への啓発パンフレット配	1 趣旨 平成20年5月に「松本市ユニバーサルデザイン推進基本指針」を策定し、ユニバーサルデザインの考え方をまちづくりの基本的な姿勢として、さらに具体化に向け取り組みを推進する。 2 事業内容 (1) 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の開催 (2) 広報まつもと特集号 11月号 (3) 小学校4年生への啓発パンフレット配



布 【28校 2,500部】 (4) 一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会との連携事業 (5) 出前講座の実施	布 【28校 2,500部】 (4) 一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会との連携事業 (5) 出前講座の実施
---	---

【地域づくり課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
買い物弱者相談事業	日常の買い物に不便を感じている方の相談に応じ、情報提供を実施 30年度相談件数 3件	各地区での買い物弱者対策の情報収集を行い、買い物に不便を感じている方の相談に応じ、情報提供を実施。解決に向けて関係課及び業者・団体等と連携して対応する。

【市民課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
住民基本台帳事務における支援措置	配偶者からの暴力やストーカー行為及び児童虐待などの被害者を保護するため、申し出に基づき、住民基本台帳の閲覧制限・住民票及び戸籍の附票の写しなどの交付を制限する支援措置を実施しました。	配偶者からの暴力やストーカー行為及び児童虐待などの被害者を保護するため、引き続き支援措置の申し出に基づき、住民基本台帳の閲覧制限・住民票及び戸籍の附票の写しなどの交付を制限する支援措置を実施します。
本人通知制度	代理人による住民票の写しや、戸籍の謄本・抄本などの不正取得や虚偽の届け出を防ぎ、また個人情報保護のため、委任者本人への通知を速やかに履行しました。また、個人情報保護の条例による開示請求にも迅速に対応しました。	市民に安心や安全を提供するため、代理人による住民票の写しや、戸籍の謄本・抄本などの不正取得や虚偽の届け出を防ぎ、また個人情報保護のため、委任者本人への通知を速やかに行います。また、個人情報保護の条例による開示請求があった場合には迅速に対応します。

【福祉計画課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
災害時要援護者支援プラン推進事業	災害時等に困難を抱えやすい高齢者や障害者等の要援護者を支援するため、平成20年度にガイドラインを、平成21年度にマニュアルを作成し、これに基づき福祉避難所の確保を進めている。 平成30年度は、下記のとおり福祉避難所の設置に関する協定の締結等を行った。 《市内福祉避難所の協定締結》 平成29年度末 2法人 10事業所 平成30年度末 25法人 49事業所 合計 27法人 59事業所	・関係部署間でプラン内容の見直しを行い、より効果的で実働的な要援護者班を組織化する。 ・災害時の福祉避難所の設置に関する事前協定の締結等を進める。 ・市総合防災訓練で、福祉避難所開設運営訓練を協定締結先事業所と連携して実施することで、災害時にスムーズに開設できるよう動作確認等を行う。
災害時等要援護者登録制度の運用	高齢者、障害者等の災害発生時等に支援を要する方が災害時要援護者として市に情報を登録することで、市はその情報を地域に提供し、日頃から地域での助け合い・見守り体制づくり、災害時における要援護者への支援体制を充	・令和2年(2020年)度から災害時等要援護者登録名簿を災害対策基本法で作成が義務付けられている避難行動要支援者名簿に統合するにあたり、平常時の見守りや災害時の避難支援等をより実効性のあるものとするため、名

	<p>実させることを目的とした制度。災害時要援護者支援プランの施策の一つとして、平成21年度より取り組んでいる。</p> <p>平成30年度は、登録から3年経過者に対して民生委員を通じて現況確認調査を行った。</p> <p>平成30年度末の登録者数 8, 288人</p>	<p>簿に係る個人情報の取扱いや名簿被提供先等を見直すもの。</p> <p>・今年度は、名簿統合の周知と活用方法等の説明を行うとともに、名簿掲載対象者に対して、平常時から名簿被提供先に情報を提供して良いか意向確認を行う。</p>
--	--	--

【障害福祉課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
障害者福祉啓発推進事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者週間（12/3～12/9）に伴い、障害及び障害者に対する理解推進を図るためのイベントを開催 ○日時 12月3日（月） ○内容 講演会</li> <li>2 県や障害者団体と連携し、各種スポーツ大会（6月：松本地区、9月：長野県）や文化芸術祭の開催、後援等を通して障害者の社会参加や市民への理解促進を図った。</li> <li>3 障害者差別解消法の周知・啓発 「信州あいサポート運動」の紹介を兼ね、出前講座を行い障害の種類や状況の周知啓発を行った。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者週間に合わせたイベントの開催 障害者週間（12/3～12/9）に合わせ、障害及び障害者に対する理解推進を図るためのイベントを開催予定。 ○日時 12月5日（木） ○内容 講演会</li> <li>2 障害者スポーツ、文化芸術祭への参加 県や障害者団体と連携し、パラスポーツイベントへの協力をはじめ、各種スポーツ大会（7月：松本地区、9月：長野県）や文化芸術祭の開催（9月）、に係る後援等を通して障害者の社会参加や市民への理解促進を図った。</li> <li>3 出前講座等による啓発推進 「信州あいサポート運動」の紹介を兼ね、出前講座を行い障害者に対して配慮すべき事項などの周知啓発を行った。（6月）</li> </ol>
障害者権利擁護推進事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 成年後見制度利用支援事業の推進 「成年後見支援センターかけはし」の運営助成</li> <li>2 「成年後見支援センターかけはし」と連携し、権利擁護に係る相談支援体制の充実を図った。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 成年後見制度利用支援事業の推進 「成年後見支援センターかけはし」の増員等組織強化に係る助成成年後見支援センター事業として、かけはしの運営費を補助している。</li> <li>2 「成年後見支援センターかけはし」と連携し、権利擁護に係る相談支援体制の充実を図る。 4月～10月 かけはしと権利擁護に係る相談支援体制の調整を行った。</li> </ol>
高齢者・障害者虐待防止ネットワークによる支援	<p>協議会開催（年2回） 関係団体等の連携、情報交換、事例検討を実施した。また、協議会の事業計画に基づき周知・啓発を通じて虐待防止を推進した。</p>	<p>協議会開催（年2回） 関係団体等の連携、情報交換、事例検討を行う。また、協議会の事業計画に基づき周知・啓発を通じて虐待防止を推進する。第1回 7月開催。関係団体等で情報交換、事例検討を行う。9月に街頭で周知・啓発活動を行い、虐待防止を推進した。</p>

【高齢福祉課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
成年後見制度利用支援事業	判断能力が十分でない認知症高齢者で、成年後見制度の利用が必要な状況にありながら申立人がいない場合に、市長が成年後見等の審判請求を行った。 審判請求件数 19件	判断能力が十分でない認知症高齢者で、成年後見制度の利用が必要な状況にありながら申立人がいない場合に、市長が成年後見等の審判請求を行う。 また、生活保護受給者等が後見人への報酬を支払えない場合に、報酬の助成を行う。
高齢者・障害者虐待防止ネットワークによる支援	・関係団体の21団体で構成する高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会（以下：協議会）を年2回開催（7/17、2/1） ・関係団体等との連携・情報交換・事例検討等、事業計画に基づく啓発事業を実施 ・高齢者・障害者虐待防止市民啓発講演会開催（2/27） 参加者 153名 ・関係団体への虐待防止チラシ、リーフレット配布 ・松本駅前広場での虐待防止啓発ポケットティッシュの配布（9/26）	・関係団体の21団体で構成する高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会（以下：協議会）を年2回開催 ・関係団体等との連携・情報交換・事例検討等、事業計画に基づく啓発事業を実施 ・第1回協議会で年間事業計画を協議 ・高齢者・障害者虐待防止市民啓発講演会開催 ・ポケットティッシュ配布等による市民啓発活動
高齢者権利擁護推進事業	・年6回偶数月に市役所本庁舎1階市民相談室で成年後見制度相談会を開催 ・「成年後見支援センターかけはし」に近隣の2市5村で運営費を補助。権利擁護に係る相談、後見支援体制に充実を図った。	年6回偶数月に市役所本庁舎1階市民相談室で成年後見制度相談会を開催 ・「成年後見支援センターかけはし」に近隣の2市5村で運営費を補助。権利擁護に係る相談、後見支援体制に充実を図る。

【健康づくり課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
自殺予防対策事業	1 自殺予防対策推進協議会の開催 7月2日 2 相談支援事業 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設 相談日数244日 実人数66人、延べ人数1,565人 3 気づき見守る地域づくり 地区役員及び希望する団体への自殺予防・こころの健康に関する講座の開催 （133回 2,888人） 4 普及啓発の推進 (1) 若い世代への啓発 ア 中学2年生とその保護者への自殺予防に関するパンフレット、リーフレットの配布 （市内中学校2年生2,383人とその保護者） イ 中学3年生・高校3年生への啓発 （新生活応援レシピへの自殺予防に関する内容の掲載 中3：2,522人、高3：3,174人へ配布）	1 自殺防対策推進協議会の開催 7月19日 2 相談支援事業 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設 相談日数142日（10月末現在） 実人数40人、延べ人数791人 3 気づき見守る地域づくり 地区役員及び希望する団体への講座の開催 4 普及啓発の推進 (1) 若い世代への啓発 中学2年生とその保護者への自殺予防に関するパンフレット、リーフレットの配布 (2) 街頭キャンペーンの実施 (3) 広報まつもとによる啓発（特集号掲載） (4) 図書館でのテーマ展示 5 自死遺族等への支援

	<p>(2) 街頭啓発キャンペーンの実施 (啓発ティッシュ配布 3月1日 市内パチンコ店3店舗で301人に配付、700個店舗へ設置)</p> <p>(3) 広報まつもとのよる啓発(特集号掲載9月号)</p> <p>(4) 自殺対策強化月間(3月)にあわせ、図書館にて 自殺予防・こころの健康に関するテーマ展示</p> <p>5 自死遺族等への支援 「分かち合いの会」等の周知及び会場の確保</p>	
エイズ・性感染症予防事業	<p>1 松本市エイズ・HIV等性感染症予防啓発推進協議会の開催 (平成30年8月23日、平成31年3月18日)</p> <p>2 協議会内に小委員会を設置し、課題を協議・検討する体制づくり 「こどもの教育」専門部会：2回開催、 「施設受け入れ」専門部会：2回開催</p> <p>3 出前講座の実施 学校 103回、8,715人</p> <p>4 街頭啓発キャンペーンへの協力 平成30年11月26日 松本駅で啓発用ティッシュ配布(松本保健福祉事務所主催)</p>	<p>1 松本市エイズ・HIV等性感染症予防啓発推進協議会の開催 (令和元年8月7日、令和2年3月実施予定)</p> <p>2 小委員会の開催、課題を協議・検討する体制づくり (「こどもの教育」専門部会開催、「施設受け入れ」専門部会開催)</p> <p>3 出前講座の実施(学校、地域、介護福祉施設) 学校 29回、2,584人</p> <p>4 街頭啓発キャンペーンへの協力 (啓発用ティッシュ配布)</p> <p>5 広報まつもとのよる啓発 12月号で特集記事掲載</p>

【こども育成課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
子どもの権利推進事業	<p>平成25年4月に子どもの権利に関する条例を施行し、すべての子どもにやさしいまちづくりを目指して取組みを進めています。</p> <p>1 子どもにやさしいまちづくり委員会を開催 市民・有識者等(15名)で構成する委員会を6回開催し、「第2次子どもにやさしいまちづくり推進計画」の策定のため、虐待・貧困等の今日的課題の検証と、子どもの権利アンケートを実施しました。</p> <p>2 子どもの権利相談室「こころの鈴」の運営 「こころの鈴ニュース」や「相談室案内カード」を市内の全小中学校等へ配布するほか、児童館・児童センターへの出前講座、学校外のスポーツ・文化活動についてのアンケートを実施しました。</p>	<p>子どもの権利に関する施策を推進するため、策定した「松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画」に基づいて、地域の中で子どもが一人の市民として尊重される基盤づくりに取り組みます。</p> <p>1 子どもにやさしいまちづくり委員会の開催 5月27日、7月18日、10月10日に委員会を開催し、令和2年度からの第2次計画策定に向けた取組みをしました。</p> <p>2 子どもの権利相談室「こころの鈴」の運営 「相談室案内カード」、「こころの鈴通信」を市内小中学校、高校に配布したほか、児童館・児童センターへの出前学習会を実施しました。 相談件数 延べ 284件(10月末現)</p>

	<p>相談件数 延べ695件</p> <p>3 子どもの権利の普及・啓発事業  (1) 11月に市内の小中学校において、校内放送を利用して子どもの権利の周知を図りました。  (2) 11月25日に「子どもの権利の日市民フォーラム」を開催し、市民に広く周知を図りました。  (3) 市内小・中学校へ学習パンフレット及び子どもの権利ニュースを配布しました。</p> <p>4 まつもと子どもスマイル運動の実施  登録者数：1,207名</p> <p>5 まつもと子ども未来委員会の開催  開催回数：17回開催、延べ参加者数：342名</p> <p>6 先進都市との子ども交流事業の実施  (1) 札幌市・奈井江町との交流（札幌市内）  7月31日～8月3日 参加者10名  (2) 宗像市・福津市との交流（市街地・乗鞍高原）  1月4日～6日 参加者 9名  (3) 子どもの権利条約フォーラム（足利市）  11月3日～4日 参加者 5名</p>	<p>在)</p> <p>3 子どもの権利の普及・啓発事業  (1) 市内小中学校に学習パンフレット及び子どもの権利ニュースを配布しました。  (2) 11月に市内の小中学校において、校内放送を利用して子どもの権利の周知を図るとともに、市内大型店舗でパネル展を実施予定。  (3) 12月1日に「子どもの権利の日市民フォーラム」を開催予定。</p> <p>4 まつもと子どもスマイル運動の実施  登録者数：1,235名（10月末現在）</p> <p>5 まつもと子ども未来委員会の開催  開催回数：11回、延べ参加者数：195名（10月末現在）</p> <p>6 先進都市との子ども交流事業の実施  宗像市・福津市との交流（宗像市内）  8月6日～9日 参加者10名</p>
<p>青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会の開催</p>	<p>1 「地方青少年問題協議会法」及び「松本市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会条例」により設置され、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立のための審議及び連絡調整を行っています。</p> <p>2 構成等  ・委員数 31人（定数35人）  ・委員 会長 松本市長  関係行政機関、学校教育関係者  保健医療関係者、有識者</p> <p>3 開催日・内容  (1) 平成29年9月25日、平成30年3月26日に会議を開催  (2) 内容  ア 青少年問題に関わる取組み  イ 子どもの権利推進事業に関わる取組み  ウ 市内小中学校のいじめの状況について</p>	<p>1 「地方青少年問題協議会法」及び「松本市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会条例」により設置され、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立のための審議及び連絡調整を行っています。</p> <p>2 構成等  ・委員数 32人（定数35人）  ・委員 会長 松本市長  関係行政機関、学校教育関係者、保健医療関係者、有識者</p> <p>3 開催日・内容  (1) 7月8日に会議を開催  (2) 内容  ア 青少年問題に関わる取組み  イ 子どもの権利推進事業に関わる取組み  ウ 子どもの未来応援事業の取組み  エ 市内小中学校のいじめの状況について  オ 青少年ホームの取組み</p>
<p>メディア・リテ</p>	<p>携帯電話、インターネットの正しい使い方を理解して、小・中学生が犯罪などに巻き込</p>	<p>「メディアを読み解く力の育成」をテーマに、市内小中学校で、親子を対象にITの専</p>

ラシー講座	<p>まれることを防ぎ、青少年の健全育成を図ることを目的として、「メディアを読み解く力の育成」をテーマに、平成21年度から市内全小中学校に広げ、親子を対象にITの専門家を講師とした啓発講座を開催しています。</p> <p>30年度実績</p> <p>小学校 17校 2,727人(児童)</p> <p>中学校 11校 4,059人(生徒)</p> <p>小中学校 1校 63人(児童・生徒)</p>	<p>門家を講師とした啓発講座を開催</p> <p>令和元年度実績(10月末現在)</p> <p>小学校 18校 1,626人(児童)</p> <p>中学校 8校 2,454人(生徒)</p> <p>小中学校 0校 0人(児童・生徒)</p>
-------	---	---

【こども福祉課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
児童虐待相談事業	<p>児童虐待を含む子育て相談に対応するとともに、庁内関係課、教育委員会等と情報共有を行い、適切な支援の実現を図った。また、子育てを行う親を対象とした講座を開講し、子どもの養育環境改善に努めた。</p> <p>1 処遇検討会議</p> <p>ケースワーカー、家庭児童相談員、女性相談員、保健師、保育士、教育相談員、教育委員会指導主事による検討会議で、情報共有と対応方針の協議を行った。</p> <p>新規家庭児童相談 501件 (内：児童虐待 55件)</p> <p>2 子育て支援講座</p> <p>児童虐待の予防を目的に、子育てを行う親に対しペアレントトレーニングを実施した。</p> <p>14回開催 延べ154人</p>	<p>児童虐待防止、予防のため関係機関との連携を密にするとともに、迅速な対応と必要に応じた的確な支援の実施</p> <p>庁内関係課等との処遇検討会議の継続実施</p> <p>児童虐待予防を目的としたペアレントトレーニングの提供により、子どもに対し不適切な対応をしている親に暴力や暴言を使わずに子どもを育てる技術を伝え、虐待の予防や回復を目指す。</p>
要保護児童対策地域協議会運営	<p>児童虐待防止のため関係機関との連携を図り、早期発見、早期対応に努めている。年1回の代表者会議に加え、年4回の実務者会議では虐待ケースの進行管理を行うとともに、個別ケースの支援会議を随時開催により、要保護児童世帯に対する効果的対応、支援を行った。</p> <p>また、新生児の養育が困難となることが予測される妊婦を特定妊婦とし、年4回の実務者会議(特定妊婦)の開催により、胎児と妊婦の安全確保に努めた。</p> <p>1 代表者会議 1回</p> <p>2 実務者会議 8回(うち特定妊婦に関する会議4回)</p>	<p>児童虐待防止のため関係機関との連携を図り、早期発見、早期対応を目的に代表者会議及び年8回の実務者会議を開催</p> <p>1 代表者会議 1回</p> <p>2 実務者会議 8回(うち特定妊婦に関する会議4回)</p>
児童虐待防止啓発事業	<p>毎年11月の児童虐待防止推進月間中にオレンジリボンキャンペーンを実施し、児童虐待防止に向けた市民の意識向上を図った。</p> <p>1 第4回ながの子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーへの参加</p>	<p>児童虐待防止推進月間にオレンジリボンキャンペーンを実施するとともに、啓発グッズの配布、広報まつもとに特集ページを掲載、懸垂幕・横断幕の掲示を実施</p>

	<p>2 映画上映会・シンポジウム開催</p> <p>3 啓発グッズの配布、懸垂幕・横断幕の掲揚</p>	
子どもの未来応援事業	<p>平成29年4月に策定した「松本市子どもの未来応援指針」に基づき、子どもの権利侵害が発生する恐れのある状態を子どもの貧困と捉え、関連施策を推進した。</p> <p>1 子どもの居場所づくり推進事業 子どもの孤食や欠食を防ぐとともに、学習支援や保護者支援を行い、地域の中に健康と安全を守るための居場所づくりを通じて子どもの自己肯定感向上を図った 10会場8団体で実施</p> <p>2 交付金団体との連絡会議 子どもの居場所づくりに取組む団体との協議を行い、効果的な居場所運営に関する情報を共有した。</p> <p>3 子どもの居場所づくり推進事業報告会 子どもの居場所づくりに取組む団体による報告会を開催し、事業の周知、拡大を図った。</p>	<p>庁内推進会議の開催を通じて、関係施策を推進するとともに、子どもの居場所の拡大を図る。</p>
ひとり親相談事業	<p>ひとり親家庭の総合的な相談に応じ、必要に応じて母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付制度の利用を勧めるなどの経済的支援や、母子生活支援施設への入所措置等、自立に必要な支援を実施した。</p> <p>相談件数 815件</p>	<p>ひとり親家庭の総合的な相談に応じ、その自立に必要な指導、支援、情報提供を行い福祉の増進を図る。</p>

### 【労政課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
職業・労働相談	<p>職業相談、雇用、賃金、労働時間、職場のトラブルなど、労働関係全般にわたる相談について、専任の相談員を配置して対応しているもの。</p> <p>1 相談日 平日の午前9時～午後5時 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)</p> <p>2 実績 年間相談件数 1,525件</p>	<p>職業相談、雇用、賃金、労働時間、職場のトラブルなど、労働関係全般にわたる相談について、水曜日には専任の相談員を配置して対応しているもの。</p> <p>1 相談日 平日の午前9時～午後5時 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)</p> <p>※水曜日以外については職員が対応し、必要に応じて相談員に確認して相談に応じる</p>
勤労者心の健康相談	<p>仕事や家庭・人間関係などで悩んでいる勤労者及びその家族、会社関係者等を対象に、専門のカウンセラーが相談に応じているもの。</p> <p>1 相談日 毎月5回 定例日の午後1時～5時 (第1月曜日は午前 8時30分～11時30分)</p> <p>2 実績 年間 156件</p>	<p>仕事や家庭・人間関係などで悩んでいる勤労者及びその家族、会社関係者等を対象に、専門のカウンセラーが相談に応じているもの。</p> <p>相談日 毎月5回 定例日の午後1時～5時 (第1月曜日は午前 8時30分～11時30分)</p>
労働相談支援事業	<p>労使関係や日常生活での悩みなど諸問題の解決を図るため、NPO法人ユニオンサポートセンターに委託して専門の相談員(社会保険労務</p>	<p>労使関係や日常生活での悩みなど諸問題の解決を図るため、NPO法人ユニオンサポートセンターに委託して専門の相談員(社会保険労務</p>

	士など) が相談に応じているもの。 実績 年間相談数4, 001件	士など) が相談に応じているもの。
中信地区労働フォーラム	労働諸法、労働経済情勢などの学習の場として、長野県との連携により、中信地区労働フォーラム(労働問題専門講演会、労働教育講座など)を開催し、労働者の意識向上に努めているもの。  開催日 平成30年7月18日 「働き方改革における労働時間の規制と今後の課題～労働時間をめぐる諸問題とその対応～」 講師 長野労働局労働基準部監督課長 大島 一洋 氏 開催日 平成31年1月23日 「働き方改革のポイントと今後の取り組み」 講師 社会保険労務士 水野 誠也 氏	労働諸法、労働経済情勢などの学習の場として、長野県との連携により、中信地区労働フォーラム(労働問題専門講演会、労働教育講座など)を開催し、労働者の意識向上に努めているもの。 労働問題専門講演会や労働教育講座などを2回開催予定

#### 【住宅課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
市営住宅へのDV被害者受入事業(緊急入居)	DV被害者を市営住宅へ緊急入居者として受け入れるもの(期間3ヵ月、最長1年、実績1件)	DV被害者を市営住宅へ緊急入居者として受け入れるもの(期間3ヵ月、最長1年)

#### 【教育政策課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
第2次松本市教育振興基本計画の推進	新たに「子どもの権利の推進」を基本施策に位置付けた、第2次松本市教育振興基本計画の施策別主要事業の進捗状況を確認し、各事業の確実な実施と改善に努めました。また、概要版リーフレットにも松本市子どもの権利に関する条例の前文や、多様性に関する文章を掲載し、あらゆる機会を捉えた周知に活用しました。	施策別主要事業の進捗状況を確認し、各事業の確実な実施と改善、及び社会情勢の変化に対応した新規の人権施策等の推進に努めます。概要版リーフレットなどを活用し、学ぶことの大切さ、楽しさを周知し人権学習の振興に努めます。
まつもと市民生きいき活動の推進	あらゆる機会を捉え、「まつもと市民生きいき活動」の周知を実施しました。 ・活動推進を図るため、広報まつもとで市内各地域での実践事例を隔月で紹介しました。 ・平成30年9月22日(土)・23日(日)第7回学都松本フォーラムを開催し、本活動について周知しました。 ・こども部の「まつもと子どもスマイル運動」と連携したポスターを更新し各町会及	あらゆる機会を捉え、「まつもと市民生きいき活動」の周知を実施します。 ・広報まつもとで市内の実践事例を紹介します。 ・令和元年9月21日(土)・22日(日)第8回学都松本フォーラムでリーフレットを配布します。 ・こども部の「まつもと子どもスマイル運動」との連携推進について検討を続けま



	び市内施設に配布し周知に努めました。	す。
--	--------------------	----

【学校指導課】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
学校人権教育研究協議会	<p>1 趣旨 小中学校特別支援学校で一貫した学校人権教育や社会教育融合の人権教育推進上の諸問題について研究討議し、人権教育の一層の進展を図る。</p> <p>2 内容 (1) 講演「人権教育ワークショップ」 (2) グループ別研究協議会</p> <p>3 期日・会場 7月2日(月) 教育文化センター</p>	<p>1 趣旨 小中学校特別支援学校で一貫した学校人権教育や社会教育融合の人権教育推進上の諸問題について研究討議し、人権教育の一層の進展を図る。</p> <p>2 内容 (1) 講演「同和教育に関する講演会」 (2) グループ別研究協議会</p> <p>3 期日・会場 7月12日(金) 教育文化センター</p>
人権教育研修会	<p>人権問題や人権教育についての認識を深め、指導者としての資質を高める。</p> <p>1 学校人権教育研修・連絡協議会 5月29日(火) 長野県総合教育センター</p> <p>2 人権教育研修会への参加 7月31日(火) 松本合同庁舎</p>	<p>人権問題や人権教育についての認識を深め、指導者としての資質を高める。</p> <p>1 学校人権教育研修・連絡協議会 5月29日(火) 長野県総合教育センター</p> <p>2 人権教育研修会への参加 7月31日(火) 合同庁舎</p>
その他	<p>1 冊子の作成と活用 (1) 「教師自身の豊かな人権感覚」 教師自身が子どもたちと生活の中で自己の人権感覚のあり方を省みるもの (2) 学校人権教育実践記録 学校における人権教育の実践をまとめたもの</p> <p>2 市内5つのブロック中心校による研究及び公開授業の実施 (1) 全市中心校 芝沢小学校 (2) ブロック中心校 筑摩小学校、信明中学校、源池小学校 女鳥羽中学校</p> <p>3 児童生徒のための人権教室 交流体験教室(ボッチャ、肉まんづくり)</p>	<p>1 冊子の作成と活用 (1) 「教師自身の豊かな人権感覚」 教師自身が子どもたちと生活の中で自己の人権感覚のあり方を省みるもの (2) 学校人権教育実践記録 学校における人権教育の実践をまとめたもの</p> <p>2 市内5つのブロック中心校による研究及び公開授業の実施 (1) 全市中心校 本郷小学校 (2) ブロック中心校 芳川小学校、菅野中学校、清水小学校 梓川小学校</p> <p>3 児童生徒のための人権教室 交流体験教室(ボッチャ、餃子づくり)</p>

【生涯学習課・中央公民館】

事業名	平成30年度実績	令和元年度計画
多文化共生事業	<p>地域在住の外国由来の住民を対象に、日本語習得の機会の提供とともに、学習を通じて相互理解を深めながら多文化共生社会の実現をめざす。</p> <p>1 日本語講座 4月～3月(全44回) 延べ1,000</p>	<p>地域在住の外国由来の住民を対象に、日本語習得の機会を提供。また、学習を通じて相互理解を深めながら多文化共生社会の実現をめざす。</p> <p>1 日本語講座 波田、中央、松南、芳川、庄内で実施</p>

	<p>人参加 波田、中央、松南、芳川、庄内で実施</p> <p>2 松本国際ふるさと祭り 「第9回こいこい松本」 6月24日(会場:Mウイング) 650人参加 参加各国のブースでの対話、文化体験、民族衣装の試着 他</p> <p>3 松本市ヤングにほんご教室 4月～3月(全79回) 延べ1,271人参加 学齢期を過ぎた外国由来の青少年の高校進学や就職に向けた日本語の学習支援として開催</p> <p>4 松本みんなのにほんご教室 4月～2月(全71回) 延べ1,340人参加 外国由来の就学・就労希望の成人に対しての日本語学習支援</p> <p>5 木曜午前ボランティア日本語教室 4月～3月(全42回) 延べ1,170人参加 外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供する</p> <p>6 日本語ボランティアきっかけ講座 9月～10月(全4回) 延べ53人参加 指導ボランティア不足解消に向けた基礎講座</p>	<p>2 松本国際ふるさと祭り 「第10回こいこい松本」 6月23日(会場:Mウイング) 参加各国のブースでの対話、文化体験、民族衣装の試着 他</p> <p>3 松本市ヤングにほんご教室 4月～3月(全75回) 学齢期を過ぎた外国由来の青少年の高校進学や就職に向けた日本語の学習支援として開催</p> <p>4 松本みんなのにほんご教室 4月～2月(全67回) 外国由来の就学・就労希望の成人に対しての日本語学習支援</p> <p>5 木曜午前ボランティア日本語教室 4月～3月(全40回) 外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供する</p> <p>6 日本語ボランティアスキルアップ講座 開催時期・回数未定 指導ボランティアの発展学習講座</p>
子どもの権利	<p>放課後の子どもたち学習会 月1回、臨時2回(全14回) 延べ63人参加 子どもを取り巻く現状について学習。事業開始から19年が経過し、参加者との協議の結果、平成30年度で事業終了とします。</p>	<p>成30年度で事業終了</p>
人権・平和学習	<p>戦後を問う会・まつもと 通年(全12回) 延べ45人参加 参加者が人権・平和の視点から世の中の動きについて自由に意見交換し、学習を深める場として開催。</p>	<p>戦後を問う会・まつもと 通年(全12回) 参加者が人権・平和の視点から世の中の動きについて自由に意見交換し、学習を深める場として開催。 自主的な運営で活動するサークル化を目指す。</p>
障害者学習支援事業	<p>聴覚障害者の学習支援と社会参加への意識向上をめざすとともに、共生社会の実現に向け、障害への理解を深め、人権・ノーマライゼーション意識を醸成する。</p>	<p>聴覚障害者の学習支援と社会参加への意識向上をめざすとともに、共生社会の実現に向け、障害への理解を深め、人権・ノーマライゼーション意識を醸成する。</p>

	<p>1 聴覚障害者と学ぶ成人学校 10月～2月（全5回）延べ103人参加 今年度は「防災・自分を守る」をテーマに5講座を開催。</p> <p>2 手話教室 (1) 入門手話教室「手話はじめの一步」 初心者対象の日常生活に関する手話教室を開催。 10月～3月（全10回） 延べ136人参加</p> <p>(2) ステップアップ手話講座 手話奉仕員養成講座修了程度を対象に講座を開催。 6月～10月（全10回）208人</p> <p>3 パラスポーツ（ボッチャ）教室 (1) ボッチャ体験会（2時間） 初心者対象の体験会を開催。 2月に2回開催。31人参加。</p> <p>(2) ボッチャルール講習会 体験教室参加者・経験者対象の講習会を開催。 3月に1回開催。16人参加。</p>	<p>1 聴覚障害者と学ぶ成人学校 10月～2月（全5回）、募集人員：40人</p> <p>2 手話教室 (1) 中級者向け手話教室 6月～10月（昼・夜、各10回）、 募集人員：各15人</p> <p>(2) 初級者向け手話教室 10月～3月（昼・夜、各10回）、 募集人員：各25人</p> <p>3 パラスポーツ（ボッチャ）教室 (1) ボッチャ体験会（2時間） 初心者対象の体験会を開催。 4月～9月に2回開催。定員24人。</p> <p>(2) ボッチャサポーター養成講習会 7月～10月までに3回開催。 体験教室参加者・経験者対象の講習会を開催。</p>
<p>地域課題解決に向けた学習活動の展開（地区公民館）</p>	<p>地区人権啓発推進協議会をはじめ、公民館委員、学級講座の企画委員、地区担当職員などによる話し合いから、地域課題の解決に向けた地域づくり学習、活動として実施。</p>	<p>地区人権啓発推進協議会をはじめ、公民館委員、学級講座の企画委員、地区担当職員などによる話し合いから、地域課題の解決に向けた地域づくり学習、活動として実施。</p>